

組み立て方

製造元



株式会社 福富士

〒538-0051
大阪市鶴見区諸口5-5-4
TEL.(06)6915-3157
FAX(06)6915-3187

★本取扱説明書は、大切に保管して下さい。
この度は当社の組立式スチール棚を御買上頂き、誠に
有難うございます。

商品を安全にご使用頂くため、ご使用前に本「取扱説明書」
と他の説明書がある場合は、これも併せて必ずお読み頂
いた上で正しくご使用下さい。

！組み立て上の御注意

- 「ボルトの締め忘れ」「ボルトのゆるみ」は、非常に危険ですので、ご注意下さい。
(定期的に点検して下さい。)
- 上部への棚の寄りや棚の裏返し使用は、行わないで下さい。
(転倒したり、強度を弱めることになります。)
- 柱の垂直と棚の水平を必ず出して下さい。
- 組み立て・ボルト等を締め付ける際、手をすべらせてケガをする恐れがあります。
必ず手袋等を着用して作業を行って下さい。

！安全に関する御注意

■設置場所

- 床面が水平である場所に棚を設置して下さい。
- 軟弱な床面や不安定な床面でのご使用は棚が倒れ、怪我をする原因
となります。
- 高い場所」「振動する場所」「安定の悪い場所」「強風の当たる場所」
には、設置しないで下さい。
- 設置後の棚の周囲に、電気等(ショートする恐れのあるもの)を配備
しないで下さい。
- 湿気の多い場所で長い間ご使用になりますと錆びが発生する事があ
りますので使用しないで下さい。

■設置方法

- 棚は「壁面にせっつる」ように設置されることをおすすめします。
- 地震で棚が倒れ、怪我をすることがありますので、建物の壁、天井等、
に固定用金物や固定用部材でしっかり固定して下さい。
- 棚は水平を保つように置いて下さい。ガタツキのままご使用されま
すと倒れたり怪我をする原因となる事があります。

■使用方法

- 棚から荷物がはみださないようにして下さい。(転倒の危険)
- 不安定な荷物を載せないで下さい。(転落の危険)
- 棚以外の目的で使用しないで下さい。
- 棚に乗る、棚に登る、棚に腰掛ける、棚を踏み台にするなどの行為は
しないで下さい。
(集中荷重により、ヘコミ・マガリ等が生じ、転倒の危険があります。)
- キャスター付きの場合は棚に乗って遊ばないで下さい。
- 耐荷重を越えて使用しないで下さい。耐荷重は棚板一面のものです。
集中荷重になりますと耐荷重能力が半減し、棚が壊れ、怪我をする事
があります。
- 上部にだけ、偏った荷重が掛かるようなご使用はしないで下さい。
棚の安定が悪くなり、倒れて怪我をする事があります。

危険

- 水槽等の水の入った物は、絶対に乗せないで下さい。
サビによる棚の腐食又は水の重さが原因で集中荷重になり、
棚が壊れ水槽又は容器等の落下による破損、ケガ等が発生
する危険があります。

棚板1枚当たりの等分布耐荷重50kg (FL-762 20kg / FLK-542P 40kg / FLK-543P 40kg)
棚板全面に均等静止荷重をかけた時の耐荷重ですので、強度は棚の使い方によって異なりますので目安としてご利用下さい。

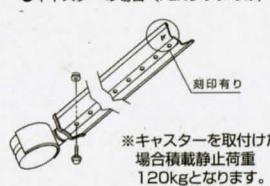
- 1** 支柱の(上)の刻印が無い方に脚キャップを取り付けます。
(キャスターを取付ける場合はキャスターを取り付けます。)

●脚キャップの場合



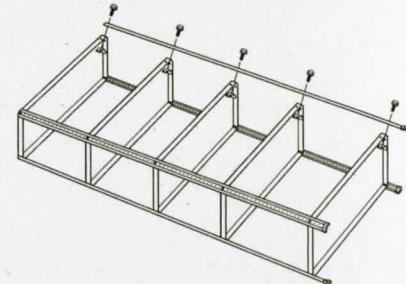
※支柱の上下をまちがえない様
注意して下さい。
(端から穴までの距離が短い方
が上になります。)

●キャスターの場合 (FLKラックのみ)



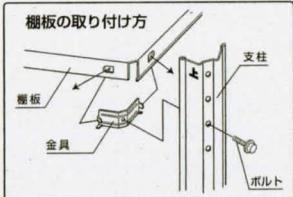
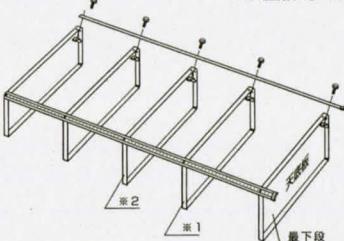
※キャスターを取付けた
場合積載静止荷重
120kgとなります。

- 2** 残りの支柱をすべて同様に取付けます。
注) ポルトは仮止めの状態にしておいて下さい。



- 3** 棚板に支柱を取付けます。天底板がある場合は最下段に取付けて下さい。

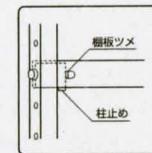
※天底板は少し大きくなっています。



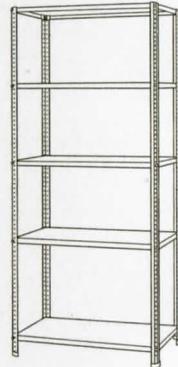
注) 2段・4段は天底板無し
3段・5段は天底板有り
(最下段に取付けて下さい。)

セレクトラックの場合
天底板が2枚・3枚(6段・8段等の時)ある場合、
天底板を 最下段・※1・※2と、下段順にすべて取付けて下さい。

- 4** 棚を立てて、水平・垂直を取り
ながらボルトを締め付けます。
この時、棚板のツメがきちんと
はまっているかを確かめて下
さい。



注)
金具の柱止めが、支柱にくっつくまで、
しっかりとボルトを締め付けて下さい。



ガードレールの取付け方

(FBラックのみ標準セット。それ以外はオプションパーツになります。)

図の様に、ガードレール2枚(長・短)を重ね、支柱の内側からボルトを通し、ナットで仮止めして下さい。

ナットは、すべてのガードレールを仮止め状態にしてから、十分締付けて固定して下さい。

注1.) ガードレールを取り付けた場合、ガードレールが変形し、支柱とガードレールの
穴が合わなくなり、ボルトが入らない場合があります。

注2.) ボルトは、必ず支柱の内側から入れて下さい。ボルトを外側から入れた場合、ボルトで収納物に
キズが付くことがありますので注意して下さい。

